



「〇〇小学校の△△です。通級に来ました。」今日も通級指導教室に通うお子さんの声がセンターに響きます。パパやママに抱っこされ、天使のようなかわいい笑顔で来校する乳幼児さんもたくさんいます。

梅雨空の中に、こんな爽やかな空気が流れているセンターですが、ここに至るまでの道のりや、ご家族を支えてこられた地域の支援者のサポートを思うと、センター職員としても背筋が伸びる思いです。そして、聴覚障害教育の大先輩、馬場顕先生の言葉を改めて噛みしめるこの頃でもあります。

「言葉のもとになる気持ちや考えは内から湧き出してもこようが、言葉は決して内から湧き出してはこない。だからこそ言語を習得させるために聾児に話し掛けるという働き掛けが必要なのである。子どもを見たら、様子や表情を察知し自然に言葉を掛けることができる、何をするときも相手が聞こえないということに配慮できる、これは指導法という仰々しいものではなく、技術以前の問題である。」

さて、6月20日には「体験学習会」が予定されていますが、現在6人の申し込みがあります。夏季休業中には「きこえの相談」に来るお子さんも多数おられます。久しぶりの再会や成長の喜びに包まれる様子も聴覚相談センターの夏の風物詩。例年、夏季休業中の予約は早めに埋まります。相談を検討中の方はお早めにご連絡ください。

「体験学習会」や「きこえの相談」で、成長した子どもたちと再会できることを楽しみにしております。

## 第4回 鹿児島きこえの交流会

～ つながろう!難聴のなかま 2025 in 聾学校 ～

5月24日(土)本校の運動会に地域の難聴の仲間が集まり、聾学校の子ども達と一緒に「借り物競走」と「玉入れ」を楽しみました。借り物競走では、同じグループの友達と協力して借り物のミッションを達成し、手をつないでゴール! 玉入れでは卒業生と交流することもできました。

子ども同士だけでなく、保護者同士も再会を喜び合っていました。県内に、難聴の仲間がたくさんいることを互いに実感できる時間になりました。



### ～ 県有物品（ロジャー一式）貸与の案内 ～

- ★ 「ロジャー」一式：マイクで拾った音声をデジタル無線方式で送信し、すぐそばで話しているような大ききで補聴器や人工内耳に音声を届けるシステム（デジタル補聴援助システム）

本校ではロジャーの購入を検討している方に対し、教育効果を確認する目的で期間を定めて県有物品の貸与を行っています。貸与に際しては、借受申請書(市町村立学校は市町村教育委員会を通してください。)を提出していただく必要があります。詳しくは聴覚相談センターまでお問い合わせください。

### 鹿児島県立鹿児島聾学校

代表 TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211

聴覚相談センター（外園）

【直通】TEL 099-228-2300 FAX 099-228-2311

お気軽に ご相談ください(^-)-☆

★ 相談は無料です。

★ 相談内容に関する秘密は厳守します。

★ 全ての支援事業は聾学校への就学を勧めるものではありません。